

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	学遊館エール		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 25日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の話を丁寧に聞き取り、気持ちに寄り添った支援を心掛けている。	子供だけでなく保護者の話も丁寧に聞き、双方の気持ちに寄り添った丁寧な支援を心掛けている。	利用児、保護者双方と話をしながら目標設定をおこない、事業所内でのより良い支援に繋げるためにスタッフ間でも情報共有を行っている。
2	電話での相談や状況報告、必要に応じて家庭訪問・ペアレントトレーニング(養育の提案)も行っている。	保護者の気持ちに寄り添い、保護者のモチベーションを保ちつつ、養育についての相談に助言を行っている。	保護者の要望も取り入れながら目標設定を行っている。大きな目標設定だけでなく細かな目標設定も行いスモールステップで成功体験をたくさん重ねる事で自信に繋げる。
3	関係機関とも細かく情報共有を行っている。	相談支援事業所とも連携を行い、児童に必要なバックアップ体制を整えている。	必要時に会議の開催要請の提案を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問スタッフが不足している。	放課後等デイサービスとの兼任である事と、スタッフの育成途中であるため。	非常勤のスタッフに学校教諭経験者、保育士経験者が在籍しているため、今後の訪問支援を担ってもらい、また、相談体制の強化を図っていく予定。
2	事業のPRが十分できていない。	学校や保育園等への事業の有用性の説明を行う機会が持てていない。	関係機関との連携により、事業説明を行う機会を設けると、必要と思われる保護者に向けての事業説明を強化していく予定。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 学遊館エール

公表日 令和7年 3月28日

利用児童数

3

回収数

2

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1			1	学校設備を活用させていただいております。	
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1			1	学校設備を活用させていただいております。	
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	2					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1			1	現状は利用人数も少なく、放デイ利用の方が多いため、放課後等デイサービスと共同でのプログラムとなっており、保育所等訪問支援のみの開催に至っておりません。	
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1			1	今後、十分な連携を取るように対応していきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1			1	保護者様に安全確保計画等を説明するよう努めてまいります。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2				
	28	事業所の支援に満足していますか。	2				

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	令和7年 3月28日
学遊館エール	利用児童数	2名 2025年 3月27日 2回収数

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2			本児との会話の中で説明が足りない時に補足して下さった。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2			支援中の距離感が丁度よく、支援する場面と見守る場面のメリハリがあった。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2			共通理解を図る中で放課後等デイサービスや家での様子を教えて下さった。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2			本児の登校意欲向上、集団参加への抵抗感が軽減された。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	2			本児の目標も達成する事ができ、大きな成長につながった。	

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
---------	------------

学校現場の状況にも対応して下さり、児童が決めた目標に向かって協力して支援を行うことができました。成長すること、登校することができたのは大きな成果だと思います。ありがとうございました。	今後も保護者様や学校との連携や情報共有に努めて支援をまいります。
---	----------------------------------

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		学遊館エール		公表日		令和7年 3月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	1	3	・教員教材は不足している、準備していく事が必要。 ・訪問支援に関する研修資料が必要。	・訪問支援に関する研修を考慮する必要がある。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1			
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	・全職員への周知が出来ていない状況ですので、連絡網や回覧を使用しての改善が必要。 ・全体での会議時に状況を報告している状態。	・職員への周知を徹底し、PDCAサイクルを進めます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	・外部評価を受けることが必要。	・評価機関を選定し、導入を検討します。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	3	・職員の研修受講が不足しているため改善が必要。	・他の事業と併せての研修を計画します。	
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4	・標準化されたアセスメントツールが準備されていない。 ・記録関係の報告書があるが、統一した物が無いため統一したアセスメント表を作成することが必要。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	・事前の支援内容等の周知がチーム職員内で出来ていないため、朝礼や前日の終礼時に報告の必要がある。 ・自発管への報告相談は訪問毎に実施されている。	・事業所内で支援内容や役割分担の情報共有に努めます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	・支援終了後の報告が、その日に全職員に周知できていないため、支援員は入力した支援内容確認をすることが必要。 ・自発管への報告相談は訪問毎に実施されている。	・シフト勤務のため時間内での情報共有が難しい場合があるが、システムを活用して実施していきます。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4				

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	・地域の関係機関との連携が上手くできていないため、改善が必要。 ・放デイとの連携はできている事例がある。	・対象児に関係する関係機関と連携を取る体制を整備していきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		4	・専門家や外部研修が不足しているため、改善が必要。	・今後の研修受講を進めています。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	・行った事はあるが、家族の状況もあり、日ごろからとは言えない。 ・ペアレントトレーニングの実施が上手く出来ていないため、研修に参加して、対応力を向上させることが必要。	・家族との連携を進め、必要とする研修の機会や情報提供を行っています。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1		・療育支援システム内では随時保護者へ報告。必要時電話にて報告をしています。 SNS等を活用した情報発信を行っています。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				
訪問先	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		・学校でのことになるため、学校に依存している状況。今後、学校等と協議をしております。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			